

2017 1/10

No.2034

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



初詣の準備が進む平塚八幡宮（平塚市浅間町）で2016年12月23日、祈禱（きとう）の受け付けなどを手伝う巫女（みこ）を務める学生らを対象に、行儀作法や所作を学ぶ研修会が行われ、白衣に緋袴（ひばかま）姿の約90人が一堂に会した。



contents

視点・点描

教育改革が示唆する未来

3

講演録

シンポジウム 「2017年の動向を読む」

4

パネリスト 共同通信社外信部長 沢井 俊光
共同通信社政治部長 小渕 敏郎
共同通信社経済部長 東 隆行
コーディネーター 神奈川新聞社論説主幹 林 義亮

社会保障

「2017年社会保障展望」

10

支出抑制待ったなし

企業最前線

活発化する宇宙関連産業

14

月面基地向けコンクリートも

くらし2017

外国人技能実習制度と介護

16

広告珍談

広告はたのしい⑪

18

モノが伝える、広告？

NNAアジア経済リポート

19

事務局だより

◇1月定例講演会

2017年1月18日（水）

午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階「リビエラの間」

講師は元財務大臣の藤井裕久氏

演題は「安倍政治のゆくえ」

◇2月定例講演会

2017年2月13日（月）

富士ゼロックス神奈川と共に
「第8回神奈川TOPセミナー」

▽基調講演

午後3時30分～4時40分

講師はサイボウズ代表取締役
社長の青野慶久氏

演題は「働き方改革～変える覚悟・変わるべき」

▽特別講演

午後4時50分～5時50分

講師はノンフィクション作家の
小松成美氏

演題は「一流とは何か～トップアスリートの真実」

ともにホテルニューグランド「レインボーボールルーム」

▽懇親会

午後6時～7時30分

ホテルニューグランド「ペリー
来航の間」

視点



繰り返されてきました。

しかし今度は少々違います。授業のあり方を変えてしまおうとい

う試みです。教師による一方的な講義はやめ、あるテーマで生徒らが課題を見いだし、グループで議論して解決に導くという双向の授業です。つまりアクティブラーニング（課題解決型学習）を全教科で推し進めるのです。

アクティブラーニングについては、すでに導入に踏み切った学校が全国各地にあります。神奈川では桐蔭学園（横浜市青葉区）が15年春から中・高校と中等教育学校で取り入れています。効果が見えてくるのはこれからでしょう。

テーマの一つは知識偏重からの脱却。より主体性や思考力を重視する方向へかじを切るということです。「またが、これまで何度も聞いた話」と思う人もいるでしょう。暗記中心の学力では社会に通じ現実は、知識や積極性に富んだ子どもが場を仕切つてしまい、あ

ならないでしょうか。
また話し合いをするにも、やはり基礎知識は不可欠です。これまでも教師が行っていた講義は動画などに収め、事前に見ておくなどの案もありますが、子どもや教師の負担がさらに増えるかもしれません。軌道に乗せるためには無理のない方法の確立が必要です。

この教育改革が見据えるのは、グローバル化がさらに進んだ社会です。いかなる状況にも対応できる判断力や実行力が求められるだろうというわけです。人工知能（AI）が進歩すれば仕事も様変わりするでしょう。「未来はどうなるか分からないので、自分で考えて解決できる能力を身につけてほしい」。これが目的です。

今回の教育改革は、未来の不確実性を示唆したものなのです。

国づくりの柱はーと問われて教育と答える人は多いと思います。というより教育の重要性を否定する人はいないでしょう。企業経営者にとつても、社を担う人材にかかるので注視しないわけにはいません。

中教審（北山禎介会長）が昨年末、2020年度から実施する次期学習指導要領の改定案を答申し

用しないといった批判は、過去も

との子は追従するようなことには

（神奈川新聞社編集委員

丸山 孝

モノが伝える、広告？

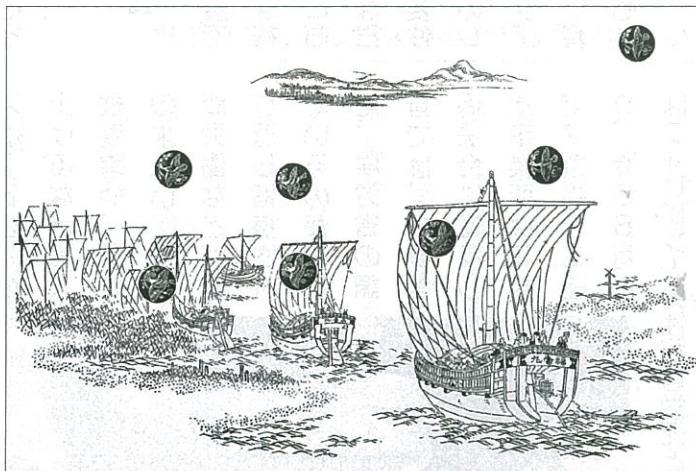
新年おめでとうございます。こ
としも、ご高覧いただけますよう。
ボクは毎年、宝船絵をデザイン
して、大阪の堀川戎神社に奉納し
ている。

図はことしお納めした、
宝船

黒い点々は「北斗七星」。北のほうの空にある、おおくま座のクマの背中から尾っぽまで、7つの星のこと。

北斗七星を、奈良の正倉院に収
蔵されている「撥鏤葵子」、バチ
ルノキシと読むお宝で表現した。
撥鏤とは、象牙（ゾウの牙のこと）
を紅色や紺色に染めて、ごく細い
刃物（毛彫タガネ）で図像を彫り
だしたもの。牙彫という。

彫ると象牙の生地が見えて、白い図像が表れてくる。図をルーペ



告である。

ボクは毎年、正倉院展を拝観す

とはいっても最初に人びとがそれを知ったのは、いわばもがな「広告」である。

(美術工芸セイスト、茅ヶ崎市在住)
(図) 堀川戎神社に奉納した、こ
としの宝船絵。宮野力哉デザイン。

宝帳

（ぼうちょう）

という。5巻の献物帳は正倉院に現存して、この基石について「銀平脱合子四合各納某子」。さらに1793年（延暦12年）、点検した

れたのだろう。
それにしてもこの連載は、「広告」
についてである。

記録には「納碁子六百枚」とある。

黒・白があつて、現存するのは計
碁石は紅色だけなく、緑色。
るチラシ、テレビのCMももちろん、広告である。

516コ。1224年のあいだに、
どなたかおえらい方がいただか
もうひとつ、広告するのは、モ
ノそのものである。人びとはほん

ものを見たい、ほんとうにうまいものを食べたいという関心が、深

- 18 -